

みんなの未来予測を未来に送ろう

めあて

友達の話聞いて、パネルディスカッションの役割を
決めよう。

パネルディスカッション

役割

- 司会者
- パネラー（討論者）
- フロア（参加者）

教科書では討論者、参加者という表記になっています。しかし、学校現場では、パネルディスカッションにおいてはパネラー、フロアの呼び名がよく使われていることから、このような表記にしました。児童の実態に応じて説明が必要です。

流れ

グループごとに、それぞれの予測を発表し合う。
 パネラー（三人）、司会者（一人）を選ぶ。
 意見発表の順番や会の進め方を話し合う。

- 「パネルディスカッション」の手順
- 討論の内容とパネラーのしようかい…（司会）
 - 各パネラーの意見発表…（パネラー）
 - パネラーによる討論…（パネラー）
 - 討論内容の要約…（司会）
 - フロアからの質問と応答…（フロア）
 - フロアも加わったの全体討論…（全員）
 - 討論全体のまとめ…（司会者）

7 / 11 時間目 指導略案 使用するワークシート… 及び進行表

活動のねらい

パネルディスカッションを行うための役割や進行の仕方について知り、友達の発表を聞いてパネラーを選ぶことができるようにする。

1 めあてを確認し、学習の見通しをもつ。

2 パネルディスカッションをする目的を確認する。

説得力のあるものにするためにパネルディスカッションを行うことを確認する。
 （一時間目の学習計画を確認する。）

3 パネルディスカッションの役割や進め方を理解させる。

役割について教科書（六十五、六十六ページ）の挿絵を見せながら説明する。
 進め方について、ビデオや教科書添付のCDを視聴させて流れを理解させる。

視聴覚教材がない場合は、教科書に掲載されている討論会の一部を役割読みする。
 それぞれの役割について「進行表」を見ながら手順を確認する。

ここでは、司会の進め方が大変重要であることや、パネラーが自分の考えを分かりやすく、論理的に話すこと、フロアがそれぞれの意見の相違点をとらえて聞き、より詳しく説明を求める質問を行うことなどを補足する必要がある。

パネラー、フロアの呼称と教科書での呼称が違います。役割の呼称については説明が必要です。

4 グループごとにパネルディスカッションの役割を決める。

グループ内で順番に自分の未来予測をスピーチする。
 聞き手は四つのポイントを基に、メモを取りながら聞く。

パネルディスカッションの役割を決める。
 パネラーが同じ内容の未来予測にならないように決める。

フロアは、質問をすることでパネラーの考えを引き出す役目があることを確認する。

ここではまず、パネラーを選びます。スピーチの内容に着目して選ばせます。その後、パネラー以外とフロアを選びます。その児童から選ばせま

評価 パネルディスカッションを行うための役割や進行の仕方について知り、友達の発表を聞いてパネラーを選ぶことができる

5 学習を振り返り、自己評価をする。